

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワークランドそら		
○保護者評価実施期間	2026年1月		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2026年1月		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大人の利用者が実際に働く姿を見ることで、お子さまたちが卒業後の進路や働くイメージをつかみやすい環境づくりを進めています。	当施設では、同じ建物内で卒業生が働くB型作業所(カフェ運営)を併設しており、在籍児童が働く姿を身近に感じられる環境があります。長期休みにはお弁当配達やカフェでの就労体験も行い、将来の働くイメージづくりにつながっています。	今後も、長期休みに実施するカフェでのお仕事体験や、B型事業所の利用者さんとの交流、配達先での地域との関わりを通して、お子さまの社会的スキルを育む機会を継続して設けていきます。
2	活動部屋を1階と2階の2か所に分けることで、お子さま一人ひとりに合った環境で安心して過ごせるよう配慮しています。	当施設では、広さを活かして学年や特性に応じた環境づくりを行っています。1階は落ち着いた環境を好むお子さまや高学年向けのスペースとして、2階は活動的なお子さまや低学年向けのスペースとして、それぞれ安心して過ごせる場所を提供しています。	今後も、お子さま一人ひとりの特性に合わせて柔軟に活動場所を提供していきます。また、年度ごとに環境を見直しながら、「そら」を利用するお子さまが笑顔で安心して過ごせるよう、より良い環境づくりに努めていきます。

3	当施設では、年間を通してイベントや季節ごとの活動を充実させ、お子さまが楽しみながらさまざまな経験ができる環境づくりを大切にしています。	お泊りキャンプや卒業遠足、季節の行事ごとや保護者交流会等毎月の行事ごとが充実しています。又、毎月外出を実施して社会性を養う経験を積む機会が多です。その他、毎月の季節の制作で季節感を感じることができたり、活動時間の他自由時間を設けて児童同士で屋内遊びをする機会があり、自立性を養う経験を多く積むことができます。	今後もイベントや各種行事ごと、制作や外出等を通して将来必要になる社会性や自立を養う経験ができるような機会を設けることができるように努めていきます。
---	---	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちが遊べるスペースが十分に確保できていない状況がある。	季節や雨の日、また事業所内で会議を行う際など、施設の一部が使えなくなってしまうことがあります。	現在、季節や天候、また会議の実施などにより、子どもたちが遊べるスペースが限られてしまうことがあります。より快適に過ごせるよう、室内レイアウトの見直しや遊びの工夫など、環境改善に取り組んでいきます。
2	他施設との交流・地域との交流が少ない。	他施設との交流は年間行事に含まれていません。下校後の開所時間が短いことや、各施設で営業時間が異なることから、交流の時間を確保することが難しい状況です。	今後は、他施設とも連携しながら、交流会などのイベントを年間行事として取り入れられるよう、実施方法を検討していきます。お子さまにとって楽しい経験が増えるよう、引き続き取り組んでいきます。
3			